

平成23年度 第3回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成23年11月24日(木) 18:30~20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 12名…根本、河村、浅羽、柏崎、酒井、澤田、鈴木、早川、古田、前川、吉田、渡辺
事務局 2名…市民生活課 山口、堀井
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者 0名

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

[意見概要]

1-(1) 利用状況・利用者の声について

(指定管理者)

利用者数は前年度比で404名増加している。震災後は今までの傾向とは異なり例年よりアップダウンが激しくなっているが、このままのペースで行けば前年より利用者数は増えそうである。

利用者の声から、スタッフの私語について意見があった。スタッフ間で問題意識を持ちながら業務に取り組んでいきたい。また、学習スペースの確保については、他都市のサポートセンターで利用目的以外の使用や不正が増えたり、トラブルが発生したりする状況も聞いているので、対応策を検討している。後ほどの審議事項の中で提案させていただきたい。

(委員)

久里浜や追浜の市民活動サポートセンターは予約ができるのか。

(市民生活課)

4人掛けのテーブルが3つほど置いてあるだけで、予約を取ると通常利用でふらっと立ち寄った人が使えなくなってしまう。また、専用スタッフが常駐していないため、事務処理上の課題等もあり予約を受け付けていない状況である。

1-(2) 夏の市民活動体験中間報告

(指定管理者)

今年のテーマは若者の参加をどれだけ増やせるか、ということだったが、成果はあったと手ごたえを感じている。今後は県立保健福祉大学や関東学院大学との連携をさらに進めるとともに、高校へのアプローチに力を入れていきたいと考えている。現在、横須賀学院との協力体制が出来つつあるので、高校生の市民活動・ボランティア参加の突破口をつくり、そこから他の公立、私立学校へと広げていく。また、社協のはまゆうキャンプなど、他団体との連携や棲み分けについても考えていきたい。

1-(3) こたろんフェアについて

(委員)

当日は、ドブ板バザールや産業まつりも開催されていたためか、他都市から来た人が多かった。汐入駅からドブ板通りや三笠公園(産業まつり)を目指している人がサポートセンターに寄っていただいた。被災地支援として被災地にある作業所の物品販売を行ったが、思っていた以上にたくさんの売上げを上げることができ、感謝している。この試みを継続していきたい。

1-(5) のたろんフェア2012の進捗状況について

(委員)

市長との車座会議(仮称)はいつ行われるのか。

(指定管理者)

2月11日を予定している。時間については調整中である。

(委員)

イベントやのたろんステージで、ショッパーズのステージを使えるようになったのは良かった。一般の方にサポートセンターの事を知ってもらうよい機会になるのではないかな。

いろいろと新しい試みをしているが、スタッフは足りているのか。

(指定管理者)

実行委員が12名おり、それぞれ分科会で担当を決めて取り組んでもらっている。当日もボランティアを募集し設営などにご協力いただく。

1-(6)市民協働推進セミナーについて

(委員)

1回目のセミナーでどのような話題があったか紹介してほしい。

(指定管理者)

地域の助け合い活動をしている団体をパネリストとして招き、活動紹介とパネルディスカッションを行った。町内会・自治体とは別の組織として立ち上がった設立1年から6年までの団体に来ていただいた。活動が長い団体は、地域での知名度が上がって活動内容も多岐にわたるが、立ち上げたばかりの団体は信頼度が低く、活動を広げようとしても資金的にも労力的にも地域に根付いた活動しかできない中で、地域の中にどうやって根差していくか悩んでいる。

(委員)

震災の影響もあって、地域の絆が見直されている。

(指定管理者)

団体では、若い人を取り込みたいが、なかなか入ってこないことでも悩んでいる。活動を始めたときは60代でも、今は70代になっており、待ったなしの課題である。活動を広げる手伝いをどのようにすべきか、サポセンの役割としてどのようなことが出来るか考えたい。

(委員)

青少年赤十字やボーイスカウトなどはそれぞれ同じような活動をしているが、協力体制・連携がないように見受けられる。まだまだ団体ごとの縦割りが強い。そのような垣根を減らしていくような意識改革や行動が出来るように、サポートセンターが役割を担っていければよいのではないかな。このようなセミナーなどの啓発も引き続き必要である。

(委員)

ボーイスカウトやガールスカウトには繋がりもあるし、そういう活動を経験した子どもたちが大きくなってから市民団体を立ち上げたりしている。そうした動きも実際にはあるのだから、広い気持ちで見守っていききたい。

2 審議事項

(1) 指定管理者から前回の運営委員会以降の新規登録団体の説明があり、新規13団体、削除1団体が承認された。

(2) 利用規約の改正について提案がされ、了承された。

[意見概要]

2-(1) 市民公益活動団体について

(委員)

人数で活動内容が変わるわけではないかもしれないが、活動人数が知りたい。

(指定管理者)

表のつくり方を工夫する。

(委員)

削除団体は活動を停止したのか。

(指定管理者)

団体からの申し出で削除するので、必ずしも活動停止とは限らない。サポートセンターを使わなくなったなど登録する必要性がない場合は登録を削除する団体もある。

2-(2) 利用規約の改定について

(委員)

変更時期はいつを予定しているのか。

(指定管理者)

のたろんフェアの準備で施設内を更地にするので、その機会にレイアウト等の変更を行いたいと考えている。その前提として運営委員会です承いただき、団体に向けて周知しておきたい。

(委員)

講習会と講演会の違いは何か。

(指定管理者)

講演会は一人が大勢に向かって大きな声で発表するものというイメージであるが、言葉としては分かりにくいかもしれない。利用案内の6ページの追加提案「原則として講演会には利用できません。」は分かりにくいので削除する。ようするに、周りに迷惑がかかるような大きな音をたてないでほしいということだが、最終的にはマナーの問題になってしまう。

(委員)

運営委員会で1回話し合っただけで、変更して良いのか。

(委員)

一度試してみて、支障があったら改善していけばよい。

3 その他

[意見概要]

意見交換会について

(市民生活課)

次回の運営委員会まで間があるので、1月25日(水)18時半から意見交換会を開催する。

以上